

令和6年度 学校関係者評価報告書

大阪市立 大正中央中学校 学校協議会

1 総括についての評価

「学校教育改善アクションプラン」とリンクして、学校教育の改善に取り組んでいただけている。学習者用端末の活用を進め、「学校はICT機器を活用した教育に取り組んでいる」の項目についても、保護者から目標を上回る肯定的な回答を得ることができており、今後も取り組みを継続して実施していただきたい。また、それに派生するようにSNSの犯罪やトラブルが増加している傾向にあるので、犯罪に巻き込まれないための学習を実施していただきたい。

2 年度目標ごとの評価

年度目標：【安全・安心な教育の推進】

- ・校内調査の「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」について、生徒の最も肯定的な回答の目標値80%を87.1%と上回っており、学校での様々な取り組みが効果的に表れている結果だと評価できる。
- ・不登校生徒の改善割合については、増加傾向にあるが、家庭と連携して改善に取り組んでいた。
- ・校内調査の「学校の規則や社会のルールを守っている」について、生徒の肯定的な回答の目標値90%を96.6%と上回っており、生徒の規範意識の向上がうかがえた。
- ・他の校内調査の数値においても、目標値を上回っており、今後の学校教育に期待したい。

年度目標：【未来を切り拓くための学力・体力の向上】

- ・校内調査の「情報を正しく読み取って、まとめることができる。また、そこから自分の考えを持つことができる」について、生徒の最も肯定的な回答の目標値20%を28.1%と上回り、「話し合い活動で、自分の考えを他の人に説明することができる」について、生徒の最も肯定的な回答の目標値20%を27.0%と上回り、「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」について、生徒の最も肯定的な回答の目標値30%を37.6%と上回っており、すべての項目において目標を達成している。総合的読解力育成カリキュラムや探究学習などの学校の取り組みが効果的に表れている結果だと評価でき、今後も継続して実施していただきたい。
- ・令和6年度の「中学生チャレンジテスト」における各教科正答率の大阪府平均との差について、3年生は（国語：0.85→0.79、数学：0.80→0.71）、2年生は（国語：0.86→0.93、数学：0.94→0.87）であった。2年生の一部の教科で目標値を達成したことについては評価できるが、学力向上に向けての取り組みに期待したい。
- ・大阪市英語力調査における、CEFR A1 レベル相当以上の英語力を有する中学3年生の割合（4技能）は35.5%で、前年度の27.7%を大きく上回っている。C-NETを活用した授業だけでなく、スピーキングの練習として帯学習で会話練習を実施し、英語力の上昇に努めた結果であると評価でき、今後も継続して実施していただきたい。
- ・校内調査の「学校の時間以外の家庭学習」について「1時間以上」と回答した生徒の割合は平日60.7%、休日50.0%であり、前年度の平日58.0%、休日37.6%を大きく上回っている。各教科

から出される日々の課題や進路を意識したキャリア教育が休日の家庭学習を推進していると考えられ評価でき、今後も継続して実施していただきたい。

- ・「全国体力・運動能力、運動習慣等調査において3項目以上大阪市平均を上回る」という目標について、男子の「上体起こし」が大阪市平均 26.42、学校平均 30.52 と達成しているが、その他の項目は達成できていない。また、校内調査の「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」について、生徒の最も肯定的な回答の目標値 50% を 52.2% と上回っている。運動は好きだが結果が伴っていないので、さらに運動に対して日頃からの意識づけをしていただきたい。
- ・校内調査の「自分の健康に気をつけている」について、生徒の肯定的な回答の目標値 84.2% を 84.3% と上回っている。薬物乱用防止教室やいのちの講習会等の学校の取り組みの結果であると評価でき、今後も継続して実施していただきたい。
- ・校内調査の「命や人権の大切さについて考えることができています」について、生徒の肯定的な回答の目標値 96.7% を 99.4% と上回っている。2回の避難訓練や救命救急講習会の実施、日々の教育活動の結果出ると評価でき、今後も継続して実施していただきたい。
- ・校内調査の「朝食を毎日食べていますか」について、生徒の肯定的な回答の目標値 80% を 89.3% と上回っている。各学年や全行的に実施されている取り組みの成果が表れていると評価でき、今後も継続して実施していただきたい。

年度目標：【学びを支える教育環境の充実】

- ・校内調査の「学校は ICT 機器を活用した教育に取り組んでいる」について、保護者の肯定的な回答の目標値 80% を 87.5% と上回っている。日常での活用の様子も拝見させていただいたが、長期休暇中の課題での利用などが結果に表れており評価できる。今後も継続して実施していただきたい。
- ・働き方改革の取り組みについて、今年度は「定時退勤申告制度」などを活用し先生方が年次有給休暇を取得しやすい環境整備に努めていることは評価できる。ほとんどの先生方が、年次有給休暇を 10 日以上取得するという目標値を達成できていることも評価でき、今後もさらなる取り組みの発展に期待したい。
- ・校内調査の「学校は、教育方針や教育活動を、学校ホームページや学年だより等でわかりやすく伝えている」について、保護者の最も肯定的な回答の目標値 45.4% を 46.6% と上回っている。日頃よりホームページを拝見させていただいているが、学校での学習の様子や取り組みがよくわかり、今後も継続して実施していただきたい。

3 今後の学校園の運営についての意見

- ・学習者用端末（ICT 機器）について、活用方法を検討していただきたい。書く力の育成は必要であるため、ICT も効果的な活用をしていただきたい。
- ・チーム担任制で先生方の沢山の目があって良い取り組みだと思う。保護者対応など、先生方の負担軽減になることに期待している。
- ・チーム担任制のアンケート結果やドリームプロジェクトの活動を楽しみにしている。
- ・SNS の使用方法について、生徒だけではなく保護者や地域向けの講座も検討していただきたい。
- ・不登校の問題について、学校・行政・家庭・地域が連動して改善に取り組んでいただきたい。区の支援施設の活用も推進していただきたい。